

# 松江医療センター



## 【施設概要】

当院は昭和 46 年に国立療養所松江病院として発足、平成 16 年に独立行政法人国立病院機構発足に伴い松江病院へと改称。平成 21 年には現在の名称である松江医療センターへと改称し新病棟や外来管理診療棟の完成を経て現在に至ります。

病床数は一般病床 328 床、結核病床 6 床あり、診療内容は、一般診療のほか、肺癌、肺気腫、呼吸不全、肺感染症、結核などの呼吸器疾患、神経難病・筋ジストロフィーなどの医療とリハビリテーション、重症心身障害医療、そして発達障害などの小児神経疾患です。中でも呼吸器疾患については、地域における「呼吸器病センター」としての自負を持ち、診療に当たっています。

## 【放射線科】

当科は診療放射線技師 4 名、放射線科医師 1 名、受付 1 名の合計 6 名で業務を遂行しています。現在稼働している装置としては一般撮影装置 2 台、X 線 TV 装置 1 台、CT 装置（6 4 列）1 台、MRI 装置（1, 5T）1 台、ガンマカメラ 1 台、ポータブル装置 2 台、歯科用 X 線装置 1 台があります。

## 【施設周辺】

松江駅から車で 10 分ほどの距離にあり山陰自動車道からの乗降口も近くにあり。また、広島方面からも松江自動車道があるためアクセスも良く比較的好条件の立地となっております。

毎年病院の敷地内には 5 月から秋にかけてヤギが放牧されておりちょっとした名物にもなっています。

城下町ということもあり街並みもきれいで、水の都とされており地酒や出雲そばも美味しく情緒豊かな町です。宍道湖のしじみは有名でお土産にも重宝します。夏に行われる湖上花火は圧巻で一見の価値があります。湿度が年間通して高いため夏は蒸し暑いですが、日照時間が少ないことも相まって美肌県と言われる所以となっております。

松江医療センターでは松丸くんという病院の白衣と松江城の城をかけてシロクマをモチーフとした当院オリジナルのゆるキャラがおります。現在では実物のその姿が見られる頻度も少なくなりレア度が増していますので運がよければ会えるかもしれません。

